

# 第8回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 議 事 録

1. 開催日時 平成24年8月10日（金）15:30～17:00
  2. 開催場所 奈良市役所 北棟5F 第21会議室
  3. 出席者
    - 副会長 京都大学教授
    - 委員 近畿運輸局奈良運輸支局長
    - 委員 近畿地方整備局奈良国道事務所長
    - 委員 奈良市自治連合会代表
    - 委員 社団法人奈良市商店街振興会長
    - 委員 社団法人奈良市観光協会長（代理：専務理事）
    - 委員 西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部総務企画課長（代理：主席）
    - 委員 近畿日本鉄道株式会社鉄道事業部企画統括部営業企画部長
    - 委員 社団法人奈良県バス協会専務理事
    - 委員 奈良交通株式会社乗合事業部長
    - 委員 奈良県タクシー協会専務理事
    - 委員 奈良県タクシー協会奈良市部会代表（代理：業務部長）
    - 委員 奈良県交通運輸産業労働組合協議会事務局長（代理：副議長）
    - 委員 奈良県奈良警察署長（代理：交通第一課長）
    - 委員 奈良県警察本部交通部交通規制課長
    - 委員 奈良県奈良土木事務所長
    - 委員 奈良県土木部まちづくり推進局次長
    - 委員 奈良県土木部次長
    - 委員 奈良市都市整備部長
- 事務局 奈良県土木部道路・交通環境課  
奈良市都市整備部交通政策課

#### 4. 議事

##### ◆事務局からの説明

- ・協議会の設置規約及び平成23年度決算、平成24年度予算（案）について
- ・奈良中心市街地公共交通総合連携計画の変更について、審議の結果了承されました。  
〈観光交通対策〉
- ・平成24年度春の観光シーズンに実施した「奈良公園ぐるっとバス」「奈良観光周遊バス」「木簡型一日フリー乗車券」の結果と今後の進め方について  
〈平日交通対策〉
- ・平成24年度における実施予定事業について

○協議会の設置規約、平成23年度決算、平成24年度予算（案）について承認されました。

##### ◆審議内容（主な意見）

###### 〈観光交通対策〉

- ・奈良中心市街地を周遊観光するにあたって、バスがあることがインセンティブとして捉えられているかをアンケートで聞いてはどうか。
- ・公共交通利用を促進するという目的を明確にしないといけない。車を利用されている方達にどうやって転換してもらうかを考えて頂けたらと思う。
- ・上高地ではマイカー乗り入れ禁止を売りにしているように、春日山原始林が世界遺産となっている奈良でも、交通面と同時に環境政策を打ち出した方が理解が進むのではないか。
- ・モビリティは向上しているが、交通機関分担に変化がない可能性がある。ぐるっとバスのアンケート結果からも分かるように、奈良に来てから認知されている。しかしながら渋滞対策としては、来訪手段のシフトが目的であるため、出発前の認知が重要。

○以上、観光交通対策については、基本的に事務局により提案した内容で行っていくこととなりました。

###### 〈平日交通対策〉

- ・事業所の通勤交通に対するモビリティ・マネジメントは非常に重要だと思う。マイカー通勤率が非常に高い奈良市役所については、是非とも原則禁止くらいまでもって行って頂きたい。
- ・モビリティ・マネジメントに関する今後の取組の評価・分析については、各地で同様の取組をやっているのだから、参考にしたら良いと思う。
- ・事業所の選定にあたっては、環境教育の意味でも、少なくともバス停圏内の学校は対象事業所として欲しい。通学路の安全が重視されている中で、先生が徒歩で通学路を確認することも重要だと思う。

・通勤交通に対するモビリティ・マネジメントについては、効果のある取組となるよう事業として進めて欲しい。

○以上、日常交通対策については、協議会事業として進めていくこととなりました。

◆その他

〈キャッチフレーズの選定〉

・奈良市交通政策課は、平成 24 年 7 月 6 日～8 月 6 日までの間、奈良市を訪問する際に、自家用車から公共交通など他の移動手段への転換を呼びかける観光モビリティ・マネジメントに利用するキャッチフレーズを募集していた。応募作品の選考にあたっては委員の方による投票を行い、その結果「コトコト乗り合い トコトコ歩いて 古都の街」に決定した。奈良市ではこのキャッチフレーズを、市のホームページ等を通じて広く周知を行っていく予定。